# 令和５年度　浜松特別支援学校　学校経営計画書

## １　目指す学校像

(1) 教育目標

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

(2) 目標具現化の柱

ア ＜授　業＞　個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校
イ ＜安　全＞　命を守り、人権を尊重した安全で安心な学校
ウ ＜協　働＞　家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
エ ＜チーム＞　全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

## ２　本年度の主な取り組み

| 取組目標 | 達成方法(取組手段) | 成果目標 | 担当部署 |
|---|---|---|---|
| ア ＜授　業＞　個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校 | | | |
| **児童生徒が夢中になれる学校生活づくり** | **〇時期毎のテーマの検討<br>〇“学校生活づくり”の視点での年間指導計画の作成** | **時期毎、取り組むべきことを明確化・焦点化した“学校生活づくり”を考えている。** | **学部<br>学年** |
| 協働的な学びの充実 | 〇個の目標と指導方法の共有<br>〇集団学習の場の確保<br>〇内容に照らした集団編成 | 集団で取り組む(友だちと取り組む)良さを生かした授業を考え、実施している。 | 学部<br>学年 |
| 個に応じた指導の充実 | ・説明会・研修会の実施<br>・流れ図で導き出した実態等を基にした話し合いの設定 | 児童生徒の実態・課題を捉えた個別の教育支援計画や個別の指導計画の目標となっている。 | 教務課<br>特別支援課<br>自立活動課 |
| 自立活動の充実 | ・自立活動流れ図作成の学習会及び作成期間の設定<br>・実践例の紹介 | 流れ図を使って今指導すべき目標を導き出し、指導場面を明確にして指導を行っている。 | 自立活動課 |
| **合わせた指導の充実** | **・単元を検討する際の観点を明確にする様式の導入と単元検討の計画的な実施** | **最良のテーマは何かを捉え、成就すべきことを明確にした単元を設定している。** | **研修課** |
| 国語・算数/数学の充実 | ・一覧とラーニングマップを活用した目標設定と評価<br>・活用に関する学習会の実施 | 学習指導要領の「目標と内容の一覧」を踏まえ、実態把握→目標設定→評価をしている。 | 教務課<br>学習指導課 |
| ICT の活用の促進 | ・ICT 関係情報の掲示板掲載<br>・学部、学年、分掌への ICT 関連での支援、助言 | 機器やネットワークごと違う ID やパスワードを理解し効果的、効率的に ICT を活用している。 | 情報教育課 |
| 本に親しむ児童生徒の育成 | ・年間計画に合った新刊購入<br>・授業で生かせる図書や関連情報の収集と情報発信 | 授業の中で本に触れる機会を確保している。 | 輝き発見課 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| イ ＜安　全＞　命を守り、人権を尊重した安全で安心な学校 | | | |
| 緊急時の対応力の強化 | ・避難訓練での役割確認と行動の振り返り<br>・防災学習の確保と充実 | 児童生徒・職員は、緊急時に自分で考えて自らの身を守る行動がとれる状態になっている。 | 防災課 |
| **安全･快適な環境づくり** | **・廃棄・清掃強化週間の設定<br>・責任者の役割の明確化<br>・ダブルチェックの実施** | **安全・快適な環境をつくるために廃棄、片付け、清掃などに自ら取り組んでいる。** | **プロジェクト<br>総務課** |
| 事故防止の強化 | ・学校危機管理マニュアルの再検討と周知<br>・校内研修の実施 | 危機管理マニュアルやヒヤリハットから学び、児童生徒の安全・安心を守っている。 | 保健体育課 |
| 人権等への徹底した配慮 | ・人権研修会の実施<br>・自己チェックの実施<br>・人権の話題の随時配信 | 児童生徒の模範となるよう、自他を大切にする行動を常に心がけている。 | 生徒指導課 |
| ウ ＜協　働＞　家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校 | | | |
| 就学前への相談支援の充実 | ・相談会・説明会等の開催についての情報提供<br>・バトンタッチ連絡会の実施 | 保護者が安心して就学を迎えられるよう、相談会や説明会等の設定ができている。 | 特別支援課 |
| **学校への応援体制の構築** | **・応援隊(員)の募集<br>・応援してくれた人への応援隊認定証の発行** | **教育活動に対して応援してくれる保護者・地域の関係機関・人が増えた。** | **管理職<br>ＣＳ担当** |
| 進路指導の充実 | ・進路指導の手引きの配布<br>・教員向け進路学習会の実施<br>・目的の共有（確認） | 本人・保護者が様々な情報を元に主体的に進路を決定することができている。 | 進路支援課 |
| エ ＜チーム＞　全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校 | | | |
| **新たな浜特の創造** | **・大切にしたいことの確認<br>・感染症対策の再見直し<br>・これまでのやり方の確認** | **コロナ禍で変化した指導の在り方・働き方を今後どうあるべきかを視点に見直している。** | **管理職<br>学部** |
| 事務処理時間の確保 | ○指導体制の見直しによる持ち時数、空き時間の再検討<br>○学年内での空き時間の調整 | 特別な場合は除き、週に複数回、事務処理時間が取れている。 | 学部<br>学年 |
| 老朽化･狭隘化への対応 | ・定期的な校内巡視と校内の要望の聞き取り<br>・計画的・効果的な予算執行 | 不用品の廃棄と必要物品の購入、不具合箇所の修繕を計画的に進めている。 | 事務部 |
| 倫理観の向上 | ・校長便りの定期配信<br>・不祥事根絶研修の実施<br>・自己チェックの実施 | 不祥事０件 | 管理職 |